pcLANfax 導入ガイド

pcLANfax Ver.2003

株式会社ダイナックス

はじめに

この度は、『pcLANfax』 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

『pcLANfax』(ピーシー・ラン・ファックス)は、ネットワーク(LAN)環境下で共有可能なパソコン用 FAX ソフトウェアです。従来の FAX 専用機に代わり、パソコンの周辺機器を利用することで FAX の送受信からファイリングまでの自動化を実現します。
『pcLANfax』の特徴は、FAX 専用機をしのぐ使いやすさと機能性です。
パソコンならではの融通性と、送受信 FAX を容易に保管・管理できる優れたファイル管理などの多彩な機能が、ビジネスの効率化をお約束します。

この導入ガイドでは、『pcLANfax』のセットアップ方法について記載しています。

『pcLANfax』の操作内容については、インストール後の「操作ガイド」をお読み下さい。
「操作ガイド」は、Microsoft Word、またはブラウザソフト(Netscape Navigetor、Internet Explorer)で読む事ができます。

目　次

はじめに 2
１ pcLANfax のさまざまな接続方法 4
２ pcLANfax のセットアップ 7
２.１ サーバセットアップ 7
２.１.１ セットアップの実行 7
２.１.２ インストーラの選択･登録 9
２.１.３ モデムの設定 10
２.１.４ 使用するプリンタの設定 12
２.１.５ 発信元情報登録 13
２.１.６ スキャナの設定 13
２.１.７ 受信モニタ設定 14
２.１.８ ユーザー登録 15
２.２ クライアントセットアップ 17
２.２.１ セットアップの実行 17
２.３ 追加セットアップ 19
２.４ pcLANfax の動作環境について 19
２.４.１ プリンタの選択 19
２.４.２ TWAIN 規格に対応したスキャナの動作確認 19
２.５ 注意事項 21
２.６ ユーザサポート 22

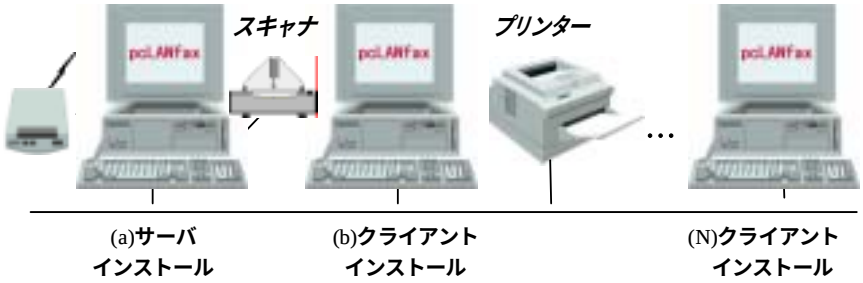
1 pcLANfax のさまざまな接続方法

■ 専用サーバを使用する場合

注）この場合、サーバだけが起動していれば (b)～で利用できます。

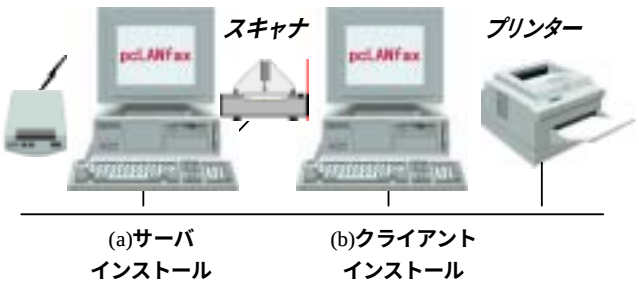
■ 専用サーバを使用しない場合

注）この場合、(a)のサーバが起動していないと(b)～は利用できません。



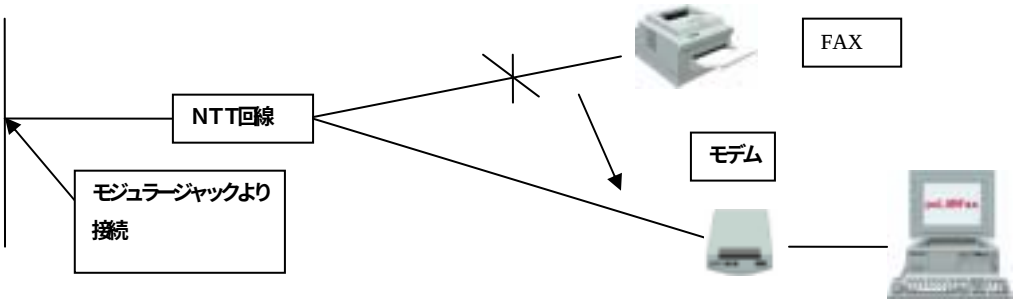
■ クライアント･パソコン２台だけで使用する場合

注）この場合も、(a)のサーバが起動していないと(b)は利用できません。
注）一般モデムを使用した場合の２４時間３６５日運転
pcLANfax は従来の FAX 専用機に代わる機能を十分有してますが、いつ受信するか分からない FAX を待ち受けるためには、モデムが接続されたパソコンと、共有データがあるパソコンはいつも起動している必要があります。従って、電源オン状態のパソコンを最小限にするためは、共有データのあるパソコンとモデムを接続するパソコンを同じにします。



■　アナログ回線を使用する場合

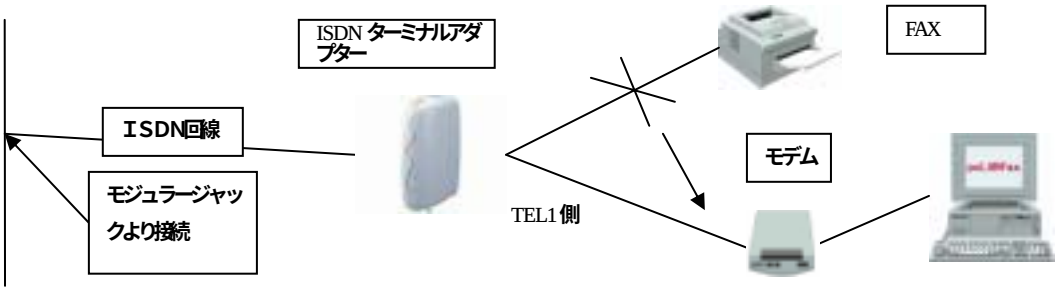
（現在 FAX を使用されているケース）



現在お使いの FAX に接続されている電話線をモデム（外付け・内蔵）の電話回線接続端子に変更する。

■　ＩＳＤＮ回線を使用する場合

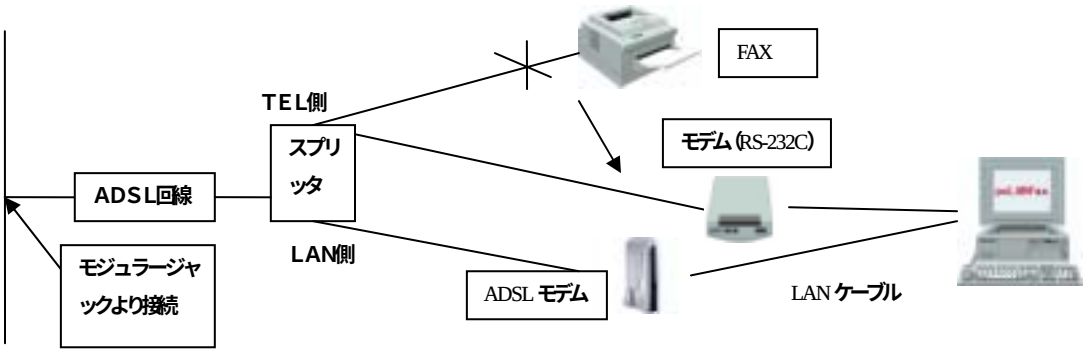
（現在 FAX を使用されているケース）



現在お使いの FAX に接続されている電話線をモデム（外付け・内蔵）の電話回線接続端子に変更する。
上記接続例ではＴＥＬ１を使用しましたが、ＴＥＬ２も同様に設定ができます。
各サービスの設定につきましては ISDN ターミナルアダプター取扱説明書を参考にしてください。

■　ＡＤＳＬ回線を使用する場合

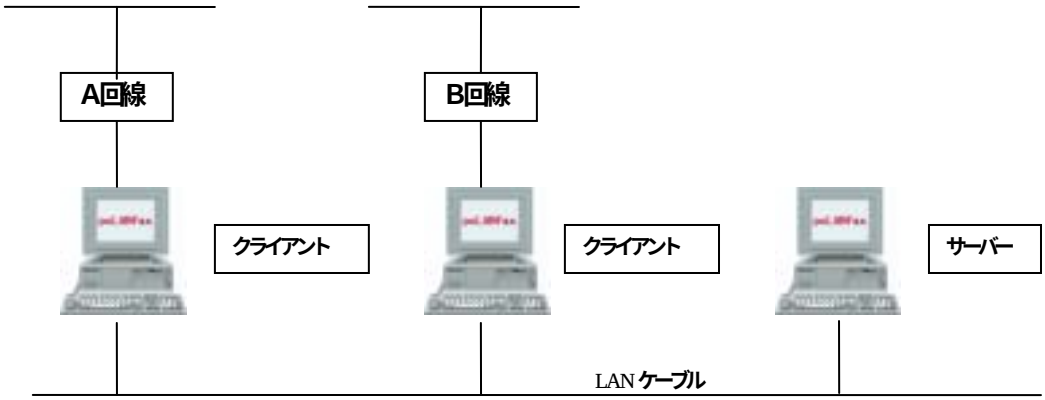
（現在 FAX を使用されているケース）



スプリッタで分配されたＴＥＬ側の電話回線をモデム（外付け・内蔵）の電話回線接続端子に変更する。
上記の参考例は FAX（RS-232C 接続）・インターネット（LAN 接続）の２接続となる方法です。

■　複数回線使用する場合

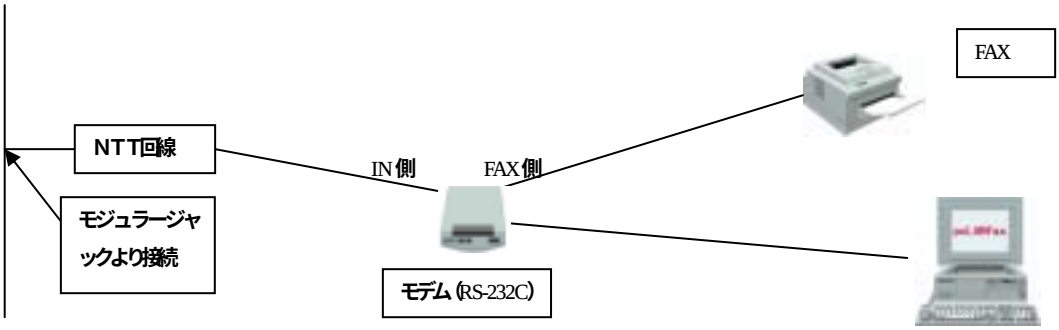
（現在 FAX を使用されているケース）



複数回線を使用する場合は、各ＰＣ最大１回線が使用可能です。
上記の図は、２回線を使用した参考例です。
各回線で受信されたデータはサーバーの pcLANfax 受信データにまとめられます。
FAX データを送信する回線は、空いている回線からランダムに選択されます。
モデムが接続されたクライアントは、常時 FAX 受信待機にしておかないと受信できません。

■　FAX 機を併用して使用する場合

（現在 FAX を使用されているケース）



FAX 機を併用してお使いになる場合、先に優先する機器を接続します。
上記の図は、「pcLANfax」を優先する参考例です。
モデムが受信できる状態の時は、「pcLANfax」で FAX 受信されます。
また、クライアントの電源が切れている等により、モデムが受信できる状態でない時は、
FAX 機より出力されます。

2 pcLANfax のセットアップ

セットアップは以下の手順で行います。

(1) サーバ側セットアップ
(2) ユーザー（クライアント）登録
(3) クライアント側セットアップ

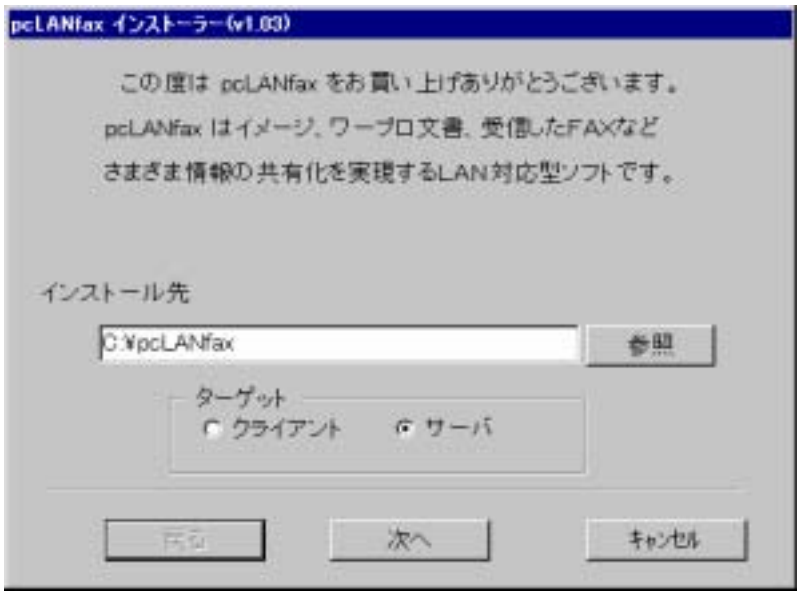
注） サーバ側のセットアップでユーザー登録を行った後でなければ、クライアント側のセットアップを行うことはできません。
注） スキャナを接続して使用するパソコンでは、スキャナに添付されている TWAIN ドライバソフトを事前に登録する必要があります。
注） モデムのドライバソフトは、pcLANfax で使用する限りでは、メーカーから提供されるドライバの登録は必要ありません。
注） WinNT4.0・Win2000・WinXP にインストールする場合は、インストールを行う方に Administrator 権限が必要です。

2.1 サーバセットアップ

サーバセットアップは、pcLANfax で共有するデータの管理場所（パス名：ドライブとフォルダ）とユーザー（ユーザー名）を登録します。ここで設定したデータの管理先に、FAX の送受信データが実際に保存されます。従って、他のすべてのユーザーはここで設定された管理場所を共有することになります。

2.1.1 セットアップの実行

本システムのＣＤ－ＲＯＭから setup.exe を起動します。あとは画面に従ってセットアップを実行して下さい。FAX の送受信データを共有する先（ドライブとフォルダ）を指定し、ターゲットのサーバをチェックして下さい。指定する共有先は、他のクライアント側から参照可能でなければなりません。
サーバインストールを行って作成されたディレクトリは、「共有」で且つ「フルアクセス」に設定する必要があります。



注）サーバのインストール先のパス名に指定するファイル名が８桁を超える場合や、
間にブランクが入るファイル名を使用すると pcLANfax のプリントが動作しない場合があります。
（平成９年７月以降のＰＣにプレインストールされた Windows95 では問題ありません。）
＜動作しないケース＞

C：Server\pcLANfaxData　　← ９桁を超えている
C: Server\Fax Data　　← ブランクが入っている

次に、実際に使用するモデムを選択して下さい。使用できるモデムは、一般の FAX モデムか、株式会社ソニー社製メモリ付 FAX モデムです。
「（使用しない）」に指定した場合は、「pcLANfax モデム制御」プログラムがインストールされません。しかし、後からでも追加インストールが可能です。

次に、登録するプログラム･グループ名を指定して下さい。

２.１.２ インストーラの選択･登録

次の中から必要な機能にチェックを入れてインストールして下さい。

・「操作ガイドのインストール」
　操作ガイド（ＨＴＭＬ）のインストールの指定をします。
　「ハードディスク」---プログラムと一緒にインストールします。
　「入れない」----------インストールしません。
　「ＣＤ－ＲＯＭ」-----サーバのＣＤ－ＲＯＭから直接閲覧します。
　「サーバ」-----------サーバのインストール先から閲覧します。（クライアントのみ指定可）

・「マネージャーをスタートアップに登録する」
　Windows の起動と同時に pcLANfax が自動起動します。

・「マネージャーをディスクトップに登録する」
　ディスクトップに「pcLANfax マネージャー」のアイコンを登録します。

・「受信モニタをスタートアップに登録する」
　Windows の起動と同時に受信モニタが自動起動します。

- 「スキャナをインストールする」
  TWAIN 対応のスキャナが利用できます。
- 「”pcLANfax”を通常使うプリンタに設定する」
  アプリケーションのプリント機能で、初期値として”pcLANfax”が選択されます。

２.１.３ モデムの設定

前記のモデム選択で「一般モデム」か「SONY-SMD(メモリー付き)」を選択した場合、次の「COM ポートの設定」から「FAX 送信の設定」までを画面に従って設定してください。
又これらの設定は、セットアップ完了後でも変更可能です。

通信ポートや接続するモデムによっても利用可能な通信速度は異なりますので、詳しくはモデムのマニュアルまたはパソコン本体の説明書等を参照して下さい。
注）　通信ポートは COM1～COM4 のポートを使用してください。
Win2000,WinXP で該当ポートがないときには使用していないポートに変更してください。

発信ｴﾗｰ時の再送回数:FAX 送信時にエラーが発生した場合の再送回数（リトライ回数）を指定します。
発信ｴﾗｰ時の再送間隔: ” 発信ｴﾗｰ時の再送回数 ” に指定がある（0 以外）場合、再送間隔を指定します。
相手の FAX に通知する番号:着信時に相手の FAX に通知または表示する電話番号を指定します。

＜モデム制御の自動起動＞
pcLANfax をスタートアップに登録して自動起動する場合は、[モデム制御]の自動起動を「する」に設定して下さい。
「しない」で設定した場合は、モデムを接続していても手動で起動しない限り動作しません。

※ 注意：
FAX の送受信は [ﾓﾃﾞﾑ制御]で処理されます。FAX の送受信を行うためには、必ず[ﾓﾃﾞﾑ制御]が起動していなければなりません。

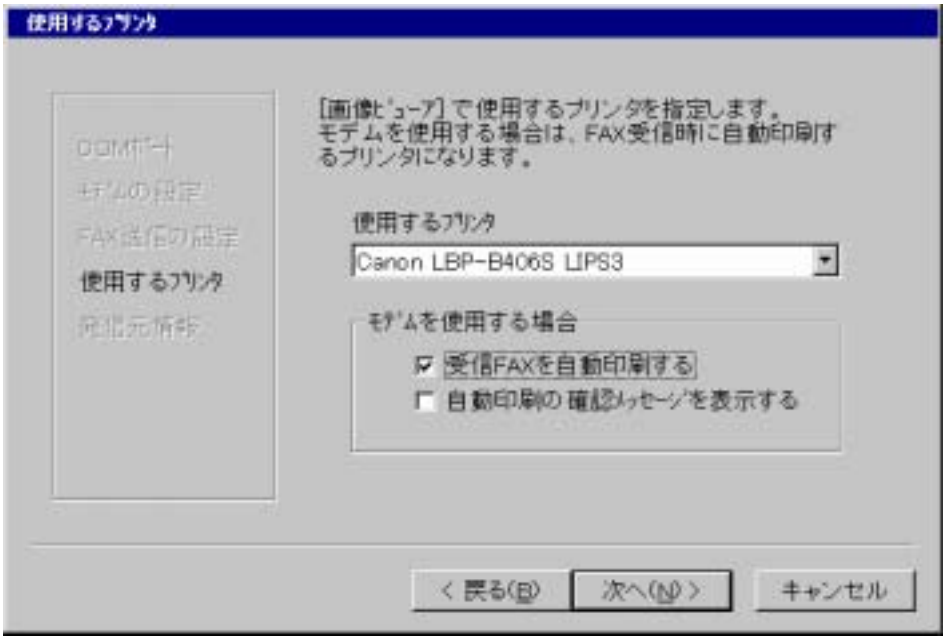
＜電話回線の種別＞
トーンかパルスの指定をして下さい。トーンかパルスかの大方の見分け方は、電話機の受話器をとってダイヤルした時、ピ･ポ･パという音の場合はトーンで、ジーコ･ジーコという音の場合はパルスです。

＜外線発信付加番号＞
外線に発進するときに電話番号の前に付ける文字列を指定します。

＜FAX 送信ヘッダの位置＞
送信する時のヘッダー情報（日時、時局の FAX 番号等）印字位置を、送信原稿の内側か外側かもしくは印字しないのいずれかを指定します。

※ 注意：
FAX 送受信を行うためには、サーバ側かクライアント側に、少なくとも１台のモデムが接続されている必要があります。

２.１.４ 使用するプリンタの設定



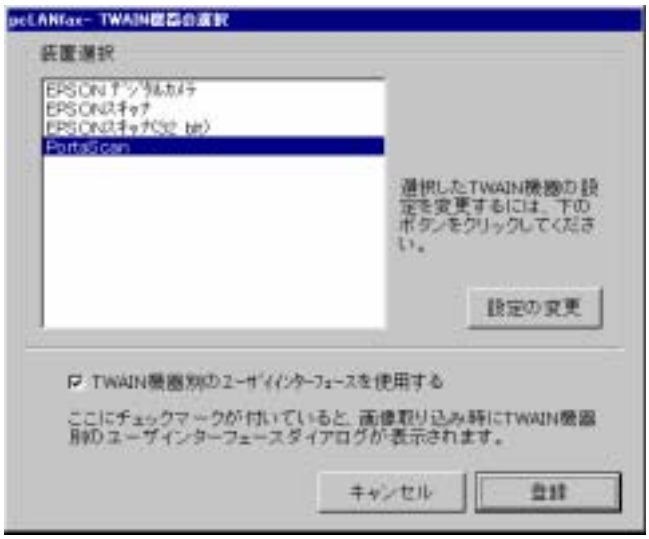
送受信したFAXや､スキャナから取り込んだイメージを出力する場合のプリンターを一覧から選択します。また、モデムを接続しているパソコンの場合、FAX の受信と同時に自動印刷させる場合には「受信 FAX を自動印刷する」にチェックを入れ、かつ、印刷する前に確認する場合はさらに「自動印刷の確認メッセージを表示する」にチェックを入れて指定します。

２.１.５ 発信元情報登録

画面の項目にしたがって発信元情報を登録して下さい。発信元情報を登録すると、送付票を付けて FAX 送信を行う際に、発信者氏名、会社名、電話番号、FAX 番号などが自動で送付票に設定されます。
（送付票は送付票エディタで編集をして設定を変更する事も出来ます。）

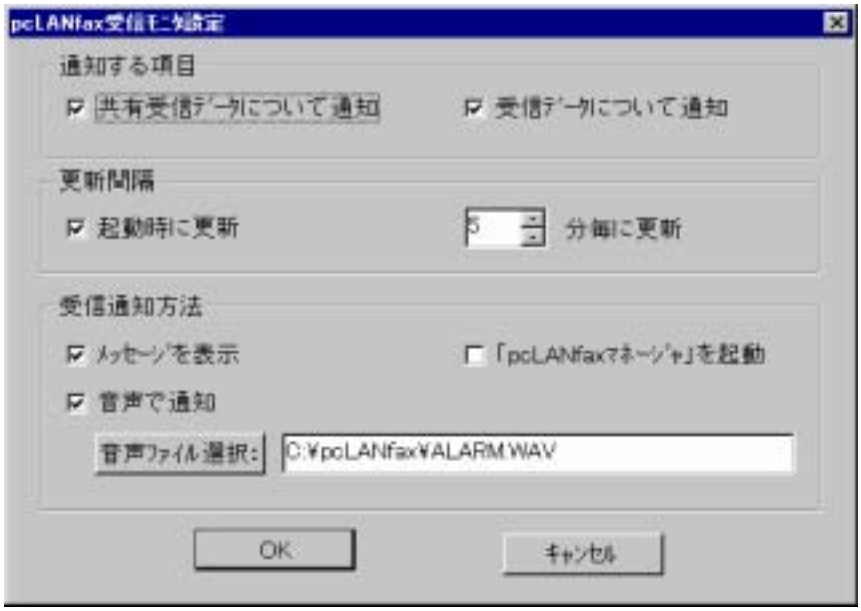
２.１.６ スキャナの設定

２．１．２インストーラの選択･登録で「スキャナをインストールする」と設定した場合、ここで一覧表示される TWAIN 対応スキャナから使用するものを選択します。
ここで使用するスキャナが見つからない場合は「キャンセル」で処理を進めて下さい。インストール後でも設定は可能です。
TWAIN 機器の設定は、スキャナ側の設定画面で行います。
詳しくは、「２.４.２ TWAIN 規格に対応したスキャナの動作確認」及び、スキャナのマニュアルを参照して下さい。
その際、スキャナは 200dpi、白黒（またはそれに相当する）に設定して下さい。
カラーモードでは利用できません。



２.１.７ 受信モニタ設定

受信モニタの設定をします。必要な機能にチェックを入れてください。



＜通知する項目＞

- 「共有受信データについて通知」
  共有受信データ全てについて通知します。
- 「受信データについて通知」
  受信データついて通知します。

＜更新間隔＞（通知する項目がある場合のみ有効）

- 「起動時に更新」
  起動時に受信データを更新します。
- 「分毎の更新」
  受信データの更新間隔を指定します。（「起動時に更新」に関係なく更新される）

＜受信通知方法＞（通知する項目がある場合のみ有効）

- 「メッセージを表示」
  データの受信メッセージを表示し通知します。
- 「pcLANfax マネージャを起動」
  データを受信すると、pcLANfax マネージャを起動します。
- 「音声で通知」
  データの受信を音声で通知します。
  使用する音声ファイルを選択します。

２.１.８ ユーザー登録

サーバ側では、取得したライセンス数ぶんのユーザー名を登録することができます。
サーバ側のセットアップに続いて下の画面で「ユーザー登録」を行ってください。
（ユーザー登録を行わなければ、クライアントのセットアップはできません。）

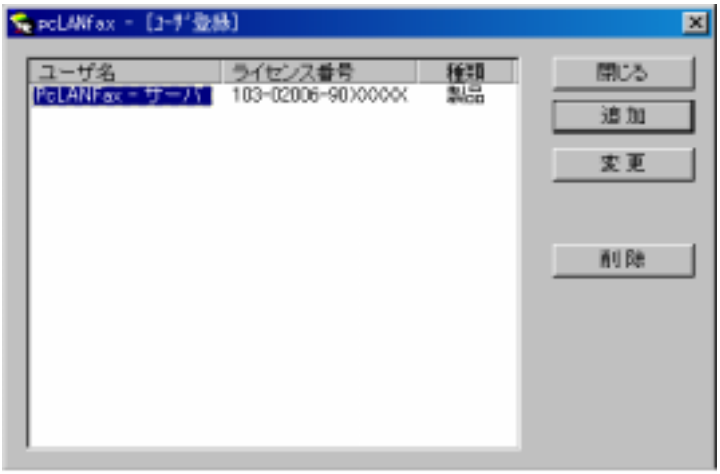
有効なライセンス番号は、弊社で発行した「ユーザー登録依頼書」に記載されているユーザー番号です。
（例：１０ユーザーなら１ライセンス番号（サーバー用）＋１０個のユーザー番号です。）

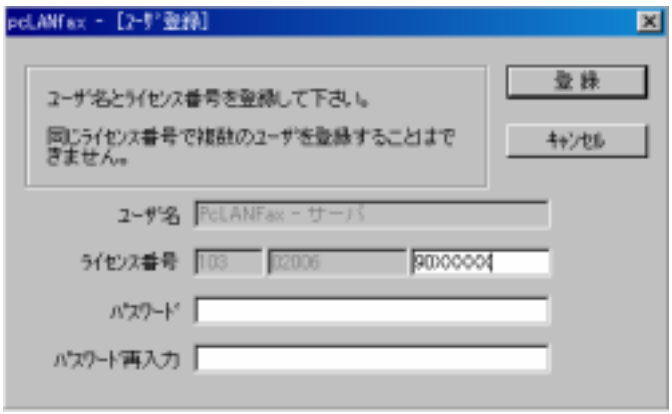
評価版をご使用のお客様は、ユーザー番号の下７桁に「0000000」を入力してください。
（その時、「有効期限付きの評価ライセンスです。登録しますか？」と表示されますので、「はい」を選択してください。種類が評価と表示されます。）

有効期限付きの評価ライセンス（試用版）について

- 有効期間内（９０日）はすべての機能をお試し頂けます。
- 有効期限が残り３０日未満になりますと、「試用版の期間はＸＸ日です。この期間を過ぎますとデータは取り出せなくなりますので印刷してください。」と表示されますので、FAX 内の文書を印刷してください。
- 試用版でお使いのお客様は正規にご購入して頂くことにより、データを移行することなく試用版を製品版に変更できます。
  （「ユーザー登録依頼書」に記載されているユーザー番号に入れ直して変更してください。
  ただし、クライアント側はお手数ですがアンインストール（２．５注意事項４参照）を行ってから再インストールを行ってください。）

下の例に習って全てのユーザ名とライセンス番号を登録して下さい。





ここで任意に設定されたユーザー名が後のクライアントインストール時のユーザー選択画面に表示されます。

以上でサーバセットアップは終了です。

２.２ クライアントセットアップ

サーバ側インストールを行わなければクライアント側のインストールは出来ません。

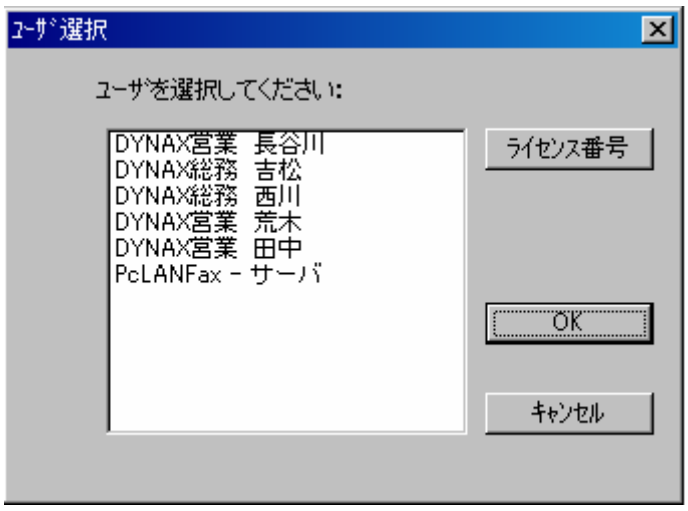
２.２.１ セットアップの実行

本システムのＣＤ－ＲＯＭから setup.exe を起動します。
あとは画面に従ってセットアップを実行して下さい。
インストール先とそのフォルダを指定し、ターゲットのクライアントをチェックして下さい。

注）サーバのインストール同様、インストール先のパス名に指定するファイル名が８桁を超える場合や、間にブランクが入るファイル名を使用すると pcLANfax のプリントが動作しない場合があります。（「２．１ セットアップの実行」をご参照して下さい）

サーバ側インストールで設定したフォルダを必ず指定して下さい。
違うフォルダを指定した場合インストールは行えません。

「ユーザー登録」で登録したユーザー覧から固有の「ユーザー名」を選択して下さい。



次の設定は、サーバ側インストールと同様です。

- インストーラーの選択・登録
- モデムの設定
- 使用するプリンターの設定
- スキャナの設定
- 発信元情報登録
- 受信モニタ設定

以上でユーザーセットアップは終了です。

２.３ 追加セットアップ

サーバセットアップ、クライアントセットアップが一通り終了した後に「モデム制御の追加（削除）を行う」、「スキャナの追加（削除）を行う」事ができます。
それぞれ追加（削除）したい項目にチェックをしてセットアップを行って下さい。

２.４ pcLANfax の動作環境について

２.４.１ プリンタの選択

pcLANfax が使用するプリンタは、[画像ﾋﾞｭｰｱ]が指定するプリンタと同じです。
[環境設定]で設定しても、[画像ﾋﾞｭｰｱ]で印刷するときに変更すると、以後は変更されたプリンタが「使用するプリンター」になります。

２.４.２ TWAIN 規格に対応したスキャナの動作確認

スキャナを利用するにはまずスキャナの設定をする必要があります。
pcLANfax は TWAIN 規格で動作しますので、TWAIN に対応したイメージ機器であれば利用可能です。以下の手順で設定して下さい。

(1) スキャナ（TWAIN 機器）のマニュアルに従って機器の設定を行います。

(2) スキャナに付属のソフト（TWAIN 対応）があれば、そのソフトでスキャナの動作を確認して下さい。
付属のソフトがない場合でも設定可能ですが、動作しない場合に問題が何処にあるのかを特定できません。

(3) pcLANfax マネージャーを起動し、「スキャナ」メニューの「TWAIN 機器の選択」をクリックします。

(4) ダイアログが表示されたら、選択窓から使用する TWAIN 機器を選択します。

(5) 「設定の変更」ボタンをクリックして TWAIN 機器側（スキャナ側の操作マニュアル）の設定を行います。
pcLANfax で利用可能な設定は白黒の 200dpi ですので、それに相当する設定を行って下さい。

(6) TWAIN 機器別の設定を保存し「TWAIN 機器の選択」へ戻ったら、「登録ボタン」で TWAIN 機器の選択を完了します。

(7) 「TWAIN 機器別のﾕｰｻﾞｲﾝﾀｰﾌｪｰｽを使用する」のチェックボックスは、画像取込時に TWAIN 機器側の取込画面を表示する/しないを指定します。
TWAIN 機器(TWAIN ドライバ)によって表示が必要なもの、表示すると問題が生じるもの、表示する/しないに関わらず利用可能なものがあります。実際に設定を変えながら確認して下さい。

２.５ 注意事項

１）「pcLANfax ﾓﾃﾞﾑ制御」が起動していない場合 FAX の送信･受信 FAX のモデムからの取り込みは行われません。

２）受信 FAX を自動印刷する場合、印刷が完了する（印字データがスプールされる）まで、次の FAX 送受信は行われません。

３）サーバ側では、pcLANfax をインストールしたフォルダをクライアント側から参照可能とするため、共有の設定を行う必要があります。このときクライアントのアクセス権は、「フルアクセス」に設定して下さい。

４）pcLANfax を削除するには、登録されたプログラムグループ「☆ pcLANfax ☆」の中の「アンインストーラ(UNSETUP.EXE) 」をクリックして下さい。アンインストール時に今まで登録を行ったデータを消さずにアンインストールをするときは、チェックマークをつけてアンインストールを行って下さい。チェックマークをはずすと登録したデータが全て失われます。

＜FAX データが蓄積さているフォルダ＞
pcLANfax\DATA　　←--共有 FAX データ
pcLANfax\DATABASE　　←--pcLANfax データベース
pcLANfax\INFO　　←--送付票データ

５）TWAIN 機器を利用する場合は、まず TWAIN 機器に付属のソフトで動作を確認して下さい。

６）Windows を終了する前に「pcLANfax ﾓﾃﾞﾑ制御」・「pcLANfax 受信モニタ」等ををを終了させて下さい。起動したまま（データベースにアクセスした状態）で終了するとデータが失われる可能性があります。

７）モデムが接続されたパソコンでは、FAX 送受信中に他のアプリケーションを操作すると、FAX の送受信に失敗することがあります。

８）インストールした後、一部のパソコンでエラーが発生することがあります。
これはシステムファイルのバージョンの違いにより発生することがあります。
以下のサイトのプログラムをインストールして更新してください。
http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;282010

９）ご使用の FAX モデムが SONY 製メモリー付きモデム(SMD シリーズ)の場合、FAX を受信（RECEIVED ランプが赤く点灯）しているのにモデムから FAX 取り込みが行われない場合や、FAX 送信を行っ たのにもかかわらずモデムにデータを転送しない場合は、モデムのリセットを行って下さい。モデム内に書き込まれたデータを失うことなく初期化できます。
モデムのリセットは、モデム本体の電源を切っても行われますが、同時にモデム内のデータも失われますのでご注意ください。

＜リセットの手順＞
１．モデム前面の「FAX メモリー受信」ボタンを三秒以上押し続ける。
２．モデムから「カチッ」と音がする。
３．詳しくはモデムに添付されている「取扱説明書」をご覧下さい。

２.６ ユーザサポート

お問い合わせ受付時間

10:00～12:00　　13:00～17:00

祝祭日、年末年始、夏期休暇を除きます。

pcLANfax のお問合せに関しましては、製品内の「送信ﾌｫﾙﾀﾞ」に予め添付されている「ユーザサポート依頼票」の項目になるべく詳しくご記入の上、ユーザサポート専用 FAX までお送り下さい。

また、当社のホームページで製品に関する最新情報や、ダウンロードサービスも行っておりますのでご利用ください。

URL　:http://pclanfax.dynax.co.jp/
E-Mail:info@dynax.co.jp

株式会社ダイナックス

ユーザサポート専用 FAX: 03-5488-7037
本社営業部　FAX:03-5488-7063　TEL:03-5488-7033
札幌支社　FAX:011-807-6452　TEL:011-809-2001